

インフラ長寿命化計画に基づく老朽化対策の取組状況調査について（お願い）  
(案)

今般、平成 25 年 11 月に全てのインフラ分野を対象とした長寿命化（老朽化対策）の方針を定めた「インフラ長寿命化基本計画」の策定から 10 年が経過し、この間、基本計画に基づき、全てのインフラ分野において行動計画及び個別施設計画を策定し、施設の点検等が着実に進められてきたところです。

今後は、点検結果を踏まえた施設の修繕・更新等を確実に進めていく必要がありますが、多くのインフラを有する地方公共団体における人員や予算不足が課題となっており、また、人口減少の進行、気候変動による自然災害の激甚化・頻発化、DX の進展など、地域構造や社会情勢の変化に対応した長寿命化の取組を全てのインフラ分野で効率的・効果的かつ一体的に推進することが重要となっています。

そこで、広域的・戦略的なマネジメント、施設の集約・再編、新技術の活用等を含む今後のインフラ老朽化対策のあり方検討に活用することを目的として、下記のとおり、全てのインフラ分野を対象にインフラ長寿命化計画\*に基づく老朽化対策の取組状況調査を実施しますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

※インフラ長寿命化計画…インフラ長寿命化基本計画、行動計画及び個別施設計画の総称

## 記

## 1. 調査概要

## ① 所管府省庁フォローアップ調査

各府省庁のインフラ施設所管部局を対象として、インフラ長寿命化基本計画及び行動計画に基づく国としての取組状況について調査を実施。(Excel 調査票に入力)

## ② 施設管理者アンケート調査

個別施設計画策定対象の施設管理者を対象として、計画策定状況及びこれに基づく取組方針等についてアンケート調査を実施。(オンラインでアンケートフォームに入力)

## 2. 提出期限

令和 5 年 8 月 31 日（木）事務局提出・回答〆切

## 3. 提出・問合せ先

インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議 事務局  
国土交通省総合政策局社会資本整備政策課 03-5253-8982（直通）

梶原 [kajiwara-c83ab@mlit.go.jp](mailto:kajiwara-c83ab@mlit.go.jp),

舘小路 [tatekouji-a89b7@mlit.go.jp](mailto:tatekouji-a89b7@mlit.go.jp)

羽田 [hata-k26e@mlit.go.jp](mailto:hata-k26e@mlit.go.jp)

深井 [fukai-s2sb@mlit.go.jp](mailto:fukai-s2sb@mlit.go.jp)

以上

【所管府省庁用】インフラ長寿命化計画に基づく老朽化対策の取組状況調査 ①所管省庁フォローアップ調査< A票 >

各施設所管部局において、対象施設毎に1件（1ファイル）の回答提出をお願いします

1 基礎情報

1) 府省庁コード		府省庁名		所管部局名	
2) 分野コード		分野名			
3) 対象施設コード		対象施設名			
4) 対象施設の基礎情報	建設から50年以上経過した施設の割合			(年度末時点で)	(%)
	現行の行動計画において対象施設としている理由				
	次期行動計画等において対象施設を見直す予定				

2 フォローアップ調査の実施状況

【補足】フォローアップ調査の結果（各項目の進捗状況）については< B票 >へご回答ください。

1) 調査実施状況	個別施設計画策定状況		点検・診断の進捗		修繕の進捗		新技術の導入		集約・再編の進捗		対策費用の概算
	調査単位										
	調査頻度										
	調査方法										
	調査結果の公表										
	公表URL										

3 点検・診断、修繕・更新等

【補足】対象施設分野における点検・診断、修繕・更新等の実施方針等についてご回答ください。

1) 点検・診断	点検を実施することを定めた法令上の根拠		法令・基準類等の名称	
	点検の頻度について定めた法令上の根拠		法令・基準類等の名称	
	対象施設の考え方（例：橋梁のうち橋長2m以上）			
	定期点検の頻度（例：5年に1回）			
2) 健全度の評価	健全度の評価区分（例：I～IVの4段階で評価）		評価区分の根拠	
3) 修繕・更新等	対象施設の考え方（例：健全度II以下の施設）			

4 基準類の整備

【補足】各施設分野の定期点検の実施手法等を示した基準・法令等について記載してください。

1) 基準類の策定状況	基準類の策定状況		基準類の名称	
2) 法令上の位置付け	法令上の位置付け		法令の名称	

5 情報基盤の整備と活用

【補足】対象施設分野における全国的な維持管理の状況を集約・共有するデータベースを整備・活用されている場合はご回答ください。例：全国道路施設点検データベース

1) データベースの有無		データベース名称				
2) データベースの概要						
3) 格納データ		国の機関	都道府県	政令指定都市	その他の市町村	その他
	施設名称・位置					
	施設の諸元等					
	点検結果（健全性）					
	修繕履歴					
	その他					
4) 一般公開状況	一般公開の有無		公表URL			

6 新技術の開発・導入

【補足】メンテナンスに係る新技術の開発・導入を推進するためにアナログ規制（例：目視規制・実地監査）の改定や事例集等の作成・公表をされている場合はご回答ください。

1) アナログ規制	点検における目視規制・実地監査などのアナログ規制の有無（現時点で残っているか）		アナログ規制の改定		
	改定した場合、その内容				
2) 事例集等の作成	手引き・マニュアル		事例集		その他
3) 上記の公開状況	公開の有無		公表URL		
4) 上記取組やその他の取組の概要					

7 施設の集約・再編等

【補足】社会情勢や地域の利用ニーズの変更等を踏まえた施設の集約・再編等の事例集等を作成・公表されている場合は記載してください。

1) 事例集等の作成	手引き・マニュアル		事例集		その他
2) 上記の公開状況	公開の有無		公表URL		
3) 上記取組やその他の取組の概要					

質問は次ページに続きます

**8 予算管理**

【補足】1)対象施設分野全体について、所管府省庁として、将来必要となる維持管理費用の推計を実施している場合に、ご回答ください。

2)インフラメンテナンスに係る取組を支援するための交付金・補助金等がある場合は、ご回答ください。

また、個別施設計画に数値目標や具体的な方針等を記載することを財政支援の要件としたり、記載により優先支援の対象としているか、ご回答ください。

※別途、財政支援策に関する説明用の概要資料（PPT等）をご提出ください。

1)	維持管理費の推計	事後保全を前提とした推計		予防保全を前提とした推計		事後保全と予防保全が混在した推計		
		行動計画への記載						
		推計結果の公表		公表URL				
2)	財政支援 (メンテナンスに係る 補助金・交付金等)	補助金・交付金等の有無		補助金・交付金等の名称				
		補助・交付対象の範囲	個別施設計画の策定経費		点検に係る費用		修繕・更新等に掛かる費用	
			廃止・撤去に係る費用		集約・再編等に係る費用		新技術の導入に係る費用	
		補助・交付の要件化や 優先支援	個別施設計画を策定していること		要件化		優先支援	
			コスト削減の方針を個別施設計画に記載していること		要件化		優先支援	
			集約・再編等の方針を個別施設計画に記載していること		要件化		優先支援	
			集約・再編等について検討していること		要件化		優先支援	
			新技術活用の方針を個別施設計画に記載していること		要件化		優先支援	
新技術活用について検討していること			要件化		優先支援			
その他（具体的に）								
3)	上記取組やその他の取組の概要							

**9 体制の構築**

【補足】インフラメンテナンスに関する研修・会議、民間登録資格制度、直轄診断・修繕代行、地域一括発注、包括的民間委託など、体制の構築に関する取組があれば記入してください。

※別途、説明用の概要資料（PPT等）を依頼させていただく場合がございます。

1)	
----	--

**10 広域的・戦略的インフラマネジメントについて**

【補足】所管施設に関する広域的・戦略的インフラマネジメントに類する施策や取組と、所管府省庁としての今後の方針をご記入ください。

※別途、説明用の概要資料（PPT等）を依頼させていただく場合がございます。

1)	複数・広域・多分野	複数の<自治体>の共同によるメンテナンスや運営等		具体の実施事例	
		複数の<分野>の共同によるメンテナンスや運営等		具体の実施事例	
		共同で実施することで効率化が図られると思われる他分野の施設			
2)	包括的民間委託等	包括的民間委託やPPP/PFIの活用実績		具体の活用事例	
3)	上記取組やその他の取組の概要				
4)	複数・広域・多分野でのメンテナンスを進める場合の課題				

**11 その他の施策内容やインフラ老朽化対策全般における課題**

【補足】所管施設のメンテナンスにおけるDX、GX（カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ/グリーンインフラ等）その他の国の横断的な重要施策に関する取組や方向性がありましたら、ご記入ください。

また、インフラ老朽化対策全般について、課題と思われることがありましたら、ご記入ください。

1)	
----	--

質問は以上です。ありがとうございました。

各施設所管部局において、対象施設毎に1件（1ファイル）の回答提出をお願いします

府省庁コード	府省庁名	部局・課名	分野コード	分野名	対象施設コード	対象施設名	集計単位	1. 行動計画の策定・更新状況 <small>当該項目は、国、都道府県、政令指定都市、その他の市区町村は回答不要です</small>											2. 個別施設計画の策定・更新状況									3. 点検・診断の進捗状況			
								策定状況				更新状況							【策定対象 管理者】	策定状況						更新状況			点検の進捗状況		
								①策定 対象主体	②策定 済み主体	③未策定 主体	④計画 策定率 ②/①	⑤更新 済み	⑥未更新で あるが計画 期間内	⑦計画 期間を 超過	⑧更新済 み割合 ⑤/②	⑨計画期 間内割合 ⑥/②	⑩計画期 間超過割 合 ⑦/②	⑪策定 対象割 合 ①/④		⑫策定 済施 設率 ②/④	⑬策定 済計 画率 ⑤/④	⑭⑦-1 更新済 み	⑮⑦-2 未更新 だが 計画期 間内	⑯⑦-3 計画期 間を 超過	集計年度	①対象施設	②完了施設				
主体数	主体数	主体数	%	主体数	主体数	主体数	%	%	%	主体数	施設数	施設数	施設数	計画数	計画数	%	%	%	計画数	計画数	計画数	年度	施設数	施設数							
							国																								
							都道府県																								
							政令指定都市																								
							その他の市区町村																								
							一部事務組合等																								
							その他																								
							合計																	0	0						

国、都道府県、政令指定都市、その他の市区町村  
については別途確認するため記入不要です



個別施設計画の取組状況について（施設管理者向けアンケート）

質問項目	選択肢イメージ
【Q1】管理している施設について、ご回答ください。	
1 施設管理者名（管理者コード）	コード入力
2 分野名（分野コード）	コード入力
3 対象施設名（対象施設コード）	コード入力
【Q2】個別施設計画を策定済みの場合は、計画に記載されている内容をご記入ください。	
1 対策の優先順位の考え方	○具体的に記載している ○定性的に記載している ○記載していない
2 個別施設の状態等	○全ての施設について記載している ○一部の施設について記載している ○記載していない
3 対策内容と実施時期	○全ての施設について記載している ○一部の施設について記載している ○記載していない
4 計画期間内に要する対策費用の概算	○記載している ○記載していない
【Q3】点検・診断の取組方針について、ご回答ください。	
1 定期点検・診断業務の実施方法	○全てを外部に委託 ○一部を外部に委託／一部は職員が実施 ○すべて職員が実施
2 定期点検・診断業務の直近の外部委託費（年度）の金額	数値入力（半角に制限）
3 所管施設の維持管理更新業務は、予防保全に転換できているか	○予防保全型に完全転換できている ○概ね予防保全型に転換 ○一部予防保全に転換 ○すべて事後保全型（損傷や不具合が生じてから対応）
【Q4】修繕・更新等の取組方針について、ご回答ください。	
1 点検結果にもとづき対策の優先順位を明確にし、計画的な修繕ができているか	○実施できている ○概ね実施できている ○あまりできていない ○全くできていない
2 各施設の必要性の再検討を行っているか	○検討している ○検討していない
3 必要性が認められない施設について、廃止や撤去を進めているか	○廃止や撤去に取り組んでいる ○廃止や撤去に向け検討中 ○該当する施設はない ○検討していない
4 必要性が認められる施設について、用途変更や集約化なども含めて対応を検討しているか	○用途変更や集約化に取り組んでいる ○用途変更や集約化に向け検討中 ○該当する施設はない ○検討していない
5 廃止、撤去、用途変更、集約化等における課題	○地域の合意形成 ○庁内の合意形成 ○優先順位の決め方など方法が分からない ○撤去費用が負担 ○その他
【Q5】情報の収集・蓄積に当たっての情報基盤（データベース等）の整備と活用の状況について、ご回答ください。	
1 施設の劣化・損傷状況等の情報収集におけるセンサーやICT等の新技術活用	○概ね全ての施設で活用している ○一部、活用している ○活用していない
2 点検・診断の結果はどのように記録・保管していますか。	○体で記録し、紙媒体で保管している。 ○紙媒体で記録し、電子データで保管している。 ○タブレット等で電子的に記録し、電子データで保管している。 ○オンラインで記録・保管している。 ○その他
3 BIMまたはCIMの活用	○概ね全ての施設で活用している ○一部、活用している ○活用していない
4 施設管理データベース※の活用 ※施設の諸元や利用状況、点検・診断・修繕・更新の履歴等を収集・蓄積し、その情報を電子的に分析・利活用するためのデータベースシステム又はこうした機能を有するクラウド型のオンラインサービス等	○施設管理者独自のシステムを活用 ○オンライン上のサービスを活用 ○Excel等のアプリケーションによるデータベースを活用 ○活用していない
5 施設管理データベースに入力するデータの属性	○施設位置 ○施設諸元 ○点検履歴 ○修繕履歴 ○健全度評価 ○その他 ○活用していない
6 インフラ所管省庁等が運用する全国的な情報プラットフォーム等の活用	○活用している ○該当するプラットフォームはない（又は知らない） ○活用していない
7 情報プラットフォーム等への記録・報告方法	○API連携等により自動入力 ○システムへ直接、手入力 ○Excel等の形式でメール提出 ○その他
8 情報基盤（施設管理データベース等）の活用における課題	○庁内の合意形成 ○活用の仕方が分からない ○活用のメリットが分からない ○導入費用がない ○その他
9 情報基盤（施設管理データベース等）の活用に向けた期待	○全庁的な動きがあれば活用したい ○具体的な活用方法を知りたい ○メリットがあるなら活用したい ○簡単・安全に使えるサービスがあれば活用したい ○特に期待はない
【Q6】点検・修繕などのメンテナンスにおける新技術の開発・導入状況について、ご回答ください。	
1 センサー等によるモニタリング技術	○導入している ○導入に向けて検討中 ○導入していない
2 ドローンやUAV、ロボット等による点検支援技術	○導入している ○導入に向けて検討中 ○導入していない
3 超音波などの非破壊検査技術	○導入している ○導入に向けて検討中 ○導入していない
4 AI等による自動診断技術	○導入している ○導入に向けて検討中 ○導入していない
5 補修・補強、新材料など上記以外の新技術	○導入している ○導入に向けて検討中 ○導入していない
6 新技術の導入における課題	○庁内の合意形成 ○導入の仕方が分からない ○導入費用がない ○対応できる業者が少ない ○基準類の改定が必要 ○その他
【Q7】予算管理の取組について、ご回答ください。	
1 所管施設の維持管理業務の予算に関する認識	○必要十分な予算が確保されている ○予算が不十分
2 メンテナンスに関する交付金や補助金を活用しているか	○活用している ○活用していない（できない） ○活用に向けて検討中
3 活用している場合、制度名	自由記述
4 活用していない（できない）場合、その理由	自由記述
5 メンテナンスに関する交付金や補助金における課題	○年度を跨いだ柔軟な活用ができない ○小規模な補修等が対象外のため活用できない ○単純撤去に活用できる制度がない ○申請に必要な設計等ができない ○その他
（その他の場合）	自由記述
【Q8】体制の構築について、ご回答ください。	
1 対象施設の維持管理業務に従事する職員数（管理職も含む）	数値入力（半角に制限）
2 所管施設の維持管理業務の実施体制に関する認識	○必要十分な実施体制が確保されている ○実施体制が不十分 ○実施体制が脆弱
【Q9】広域的・戦略的マネジメント（地域インフラ群再生戦略マネジメントなど）について、ご回答ください。	
1 複数分野の施設の維持管理業務や定期点検・診断業務をまとめて包括的に発注（PFI事業による実施も含む）し、業務を効率化していくことに対する施設管理者としての現在のスタンス	○積極的に取り組みたい・取り組んでいる ○関係者の調整がつけば取り組んでみたい ○現在のところ取り組み予定はない ○わからない・考えたことがない
2 市町村単位を超えて、都道府県や複数市町村と共同で施設の維持管理業務や定期点検・診断業務をまとめて包括的に発注（PFI事業による実施も含む）し、業務を効率化していくことに対する施設管理者としての現在のスタンス	○積極的に取り組みたい・取り組んでいる ○関係者の調整がつけば取り組んでみたい ○現在のところ取り組み予定はない ○わからない・考えたことがない
3 複数・広域・多分野で施設を維持管理する際の課題	○他部署・他市町村との調整 ○コスト削減効果やメリットの明確化 ○知識・ノウハウの習得 ○議会の理解 ○発注や執行管理のルールづくり ○切迫性の有無
4 将来的に複数・多分野・広域でのインフラ維持管理が考えられる分野	自由記述
5 将来的に複数・多分野・広域でのインフラ維持管理のために連携できそうな地方公共団体等	自由記述
6 市町村界を超えて、複数の自治体が共同で施設を維持管理する場合の手法として、現在の業務の実績から、次のうち最も実現可能性が高い（あり得る）と考えられる手法を一つ選んでください。	○広域的に施設の維持・管理業務を請け負うPFI事業者から、それぞれの自治体がサービス購入する方法 ○一つの自治体に事務を委託（代替執行、委任を含む）をして、当該自治体が代表して業務を発注、執行する方法 ○一部事務組合、広域連合を設立し、当該主体が業務を発注、執行する方法 ○複数の地方公共団体で施設の維持管理業務を実施する共同機関を設置し、当該機関が業務を発注、執行する方法 ○地方公共団体以外の法人に共同で業務を委託し、当該法人が業務を発注、執行する方法
7 都道府県に伺います。区域内の市町村の施設の維持管理業務を貴団体が受託して広域的に維持管理を行うことはあり得ますか。	○十分にあり得る（実際に実施している業務がある） ○検討の余地はある ○困難、検討の余地がない
8 市町村に伺います。都道府県に区域内の施設の維持管理業務を委託して広域的に維持管理を行うことについてどう考えますか。	○積極的（実施してもらいたい） ○消極的（実施してもらいたくないと思わない） ○分からない・考えたことがない